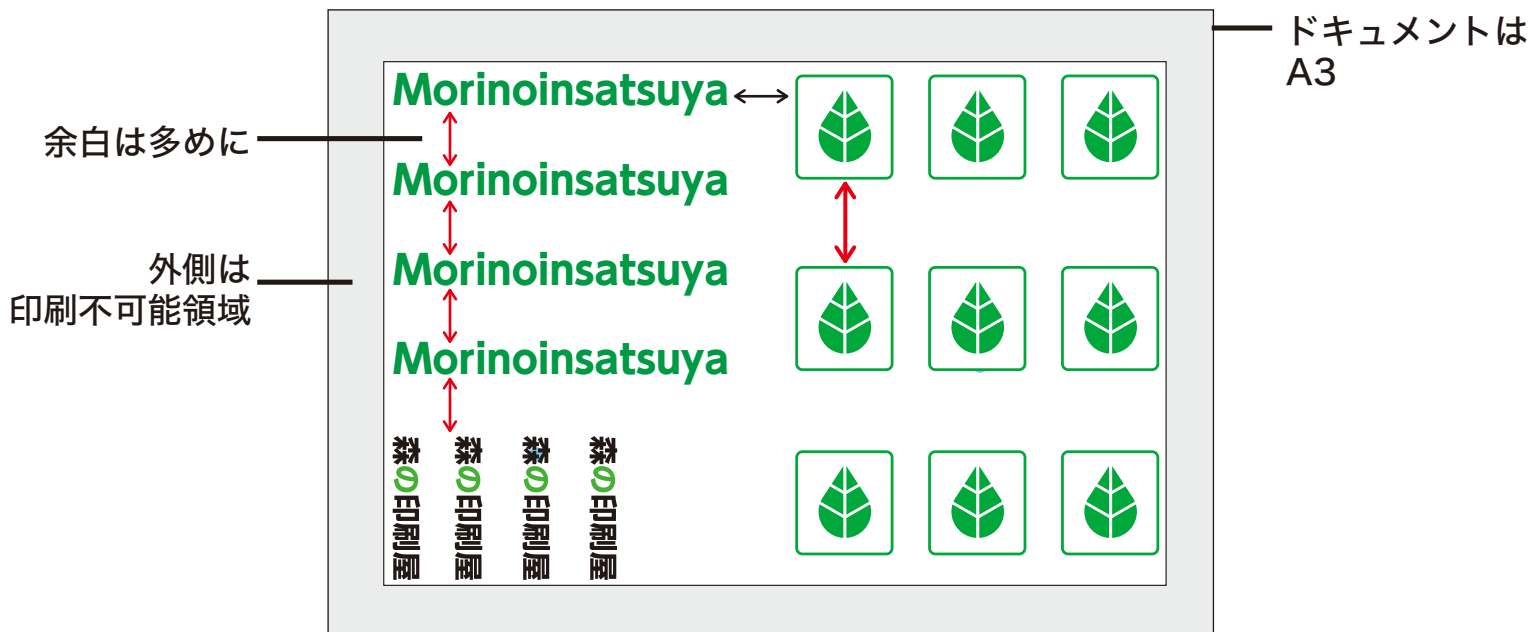


# インクシール 転写印刷用データ 作成注意点

## カラー版 データ作成時のチェックポイント



オブジェクトやテキストの間隔は**10~15mm以上離して**作成しますと余白が多くなり、貼り作業が楽に上手く貼ることができます。



**2mm以下の線やオブジェクト、8pt以下のテキスト**は、シートからはがす時や貼り作業の際にちぎれたり、転写後もはがれやすくなりますのでご注意ください。

ドキュメント  A3サイズで作成してください。  
トンボは不要です。

外枠  フォーマットにあらかじめ空パスを作成しています。  
削除しないでください

印刷可能領域  ドキュメントの**外側天地左右15mmは印刷不可能領域**ですので、それより内側にオブジェクトを作成してください。

カラー  **特色**は使用しないでください。

文字アウトライン  文字にはアウトラインをかけてください。

保存形式  EPSファイルで保存してください。

配置画像  画像は必ず埋め込んでください。

※次ページに続きます↓

# インクシール 転写印刷用データ 作成注意点

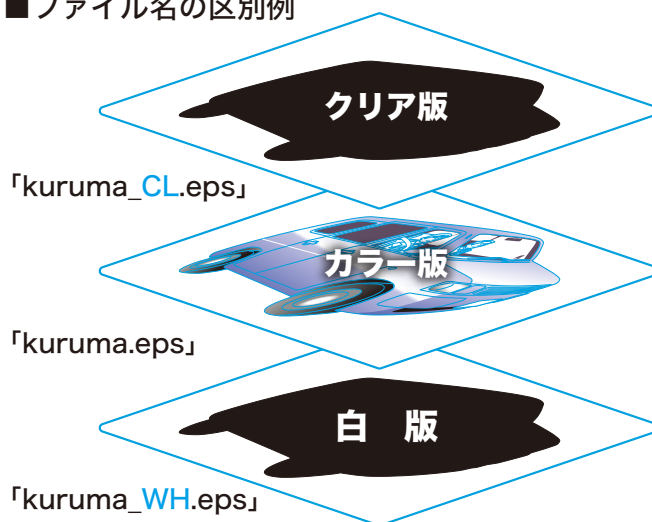
## 白版・クリア版 データ作成時のチェックポイント

### 基本の版データは、1 セットで 3 ファイル必要

まずカラー版のファイルを作り、ファイルをそのまま 2 個複製、白版とクリア版にします。「複製」する理由は、全ての版で、図柄を同じ位置にしておくためです。ファイル名は、右図のように区別しておきます。

白版・クリア版の、データ上の色は通常全て「K(墨) 1 色 100%」にしてください。

#### ■ファイル名の区別例



## 画像データ処理について

### 画像データ (JPEG や PNG、TIFF など) は、「クリッピングパス」で切り抜き



画像は必ず、Photoshop などで「クリッピングパス」か、Illustrator に埋め込んで「クリッピングマスク」をかけてください。また、クリッピング時に使用した「パス」は、そのまま流用し、塗りで「K(墨) 100%」にして、「白版」・「クリア版」を作成できます。

※「PSD」や「PNG」など、“PC 画面上では” 背景が透明に見えるデータも、印刷データに変換すると、透明の部分が不透明の白になり、切り抜き前と同じ状態 (周囲に白い枠が出ます) で印刷されますので、必ずクリッピングをかけてください (弊社での処理も可能ですが、有料になります)。

#### ■クリッピングパスから白版・クリア版を作る



画像を埋め込み、「パス」だけを残して、画像を消去します。

※パスのアンカーポイント(点)の数が多すぎると画像消去の際、まれにエラーが起こる場合があります。

残したパスに「K100%」で塗りを入れ白版(またはクリア版)のできあがり。